



I 基本事項

1 計画の性格

総合計画の部門別計画として生涯学習を推進するための施策等について定め、あらゆる関係者の取組によって推進を図っていくことを目指して策定

2 計画の期間

ふくしまの30年先の未来を思い描きつつ、令和4(2022)年度から令和12(2030)年度の9年間とする

II 現状と課題

1 本県の生涯学習を取り巻く現状と課題

(1) 人生100年時代の到来

○ライフステージに合わせた学びの必要性の高まり 高齢者の健康に関する生涯学習へ関心の高まり

(2) 少子高齢化と人口減少の進行

○担い手不足による地域社会の教育力低下 少子化や核家族化による家庭の教育力の低下

(3) ICTの進展

○新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、生涯学習講座の開催手段としてICTが急速に浸透

(4) 東日本大震災及び原子力災害の風化の進行と災害の頻発化・激甚化

○発災から10年以上の歳月が経過する中での風化の加速 被害や苦難の実態を知らない世代の増加

2 県民の生涯学習に関する意識 (県民の生涯学習意識調査から抜粋)

(1) この1年間で生涯学習をしたことがあるか?

○「ある」と回答した割合
H21 : 42.4%
R2 : 36.9% Δ5.5%

(2) 生涯学習の目的について

○職業に関する学習ニーズが高まっている

(3) 生涯学習をしたことがない理由について

○「仕事や家事などが忙しく時間がない」が最も高く、次いで「きっかけがつかめない」が主な理由となっている

(4) 身につけた知識・技能や経験をどのようにいかしているかについて

○「仕事や就職」「生きがい」「健康の維持・増進」に役立てている割合が高い
○職業に対しての生涯学習の有用性を感じている人が増えている

(5) 生涯学習をする上で、行政に期待することについて

○情報の充実や施設の利便性の向上、講座や講師の充実についての期待が高い

III 目指す姿

1 基本目標

学び合い、支え合い、地域が輝く。
次世代へつなぐ 生涯学習社会ふくしま

2 基本目標の実現に向けて

学びを「ささえる」

学びを「いかす」

学びを「つなげる」

学びを「ひろげる」

3 目指す姿とSDGs

SDGsの掲げる17の目標を全ての人が意識できるよう、SDGsの考え方に十分配慮しながら、施策全般を進める

・誰かと**学び合う**ことで、お互いを更に高め合う
・生涯学習の実践を通じて、**支え合**っていく
・学びの成果を地域にいかすことで地域づくりや復興・創生につながるなど**地域が輝く**
・学びの在り方を**次世代に伝え、後世に向けて生涯学習社会ふくしまの形成**を目指す



IV 施策の展開

施策1 人生100年時代を生きる学びの推進

Point 生涯にわたり個々人のライフステージに合わせた、より実践的な学習機会の提供を推進

(1) 人生100年時代の学びの推進

- ①ライフステージに応じた学びの機会の提供
- ②企業や家庭、地域社会が一体となった学びやすい環境づくり
- ③学び直しがしやすい環境づくり
- ④学習成果の職業キャリア形成への活用



〔離職者等再就職訓練〕

(2) 若い世代の「生きる力」を育む学びの推進

- ①体験等を通じた自ら学ぶ力の育成
- ②地域が一体となった子どもの育成
- ③キャリア教育の推進
- ④読書、鑑賞及び創作に親しむ活動の推進

(3) 支援が必要な方の学びの推進

- ①障がいのある方への切れ目のない学びの支援
- ②支援が必要な方が参加できる講座等の充実

(4) 心身の健康づくりに向けた学びの推進

- ①健康づくりに関する学習機会の充実
- ②健康づくりのきっかけとなる情報の提供

【県総合計画の施策分野】

誰もがいきいきと暮らせる県づくり

＜主な指標＞

○市町村生涯学習講座受講者数(人口千人当たり)
現況(R2) 214人 ⇒ 目標(R12) 750人

施策2 地域づくりにつながる学びの推進

Point 地域コミュニティの活性化や伝統文化の継承が図られる学習機会の提供を推進

(1) 地域コミュニティ活性化の推進

- ①地域コミュニティの活性化につながる学びの提供
- ②地域を支える人材の育成
- ③地域活動への参加の促進
- ④親の学びの支援



〔農業地域交流〕

(2) 地域への誇りと愛着を育む学びの推進

- ①地域が一体となった学びの環境づくり
- ②安全・安心な子どもの居場所づくりの推進
- ③伝統文化等の継承・担い手育成の支援

【県総合計画の政策分野】

ふれあいと親しみのある魅力あふれる県づくり

＜主な指標＞

○NPOやボランティアと県内自治体等との協働事業件数
現況(R2) 471件 ⇒ 目標(R12) 561件

V 計画の推進と進行管理

Plan → Do → Check → Action

1 計画の推進

○指標による施策の実施状況の把握

2 計画の進行管理

○毎年度の点検・評価を生涯学習審議会
で審議

施策3 東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓の伝承

Point 震災の記憶がない若い世代を始めとした震災伝承の取組や命を守る防災教育の推進

(1) 東日本大震災等の経験や教訓の伝承と防災教育の推進

- ①震災の記憶、記録、教訓の伝承
- ②復興の過程からの学びと発信
- ③命を守る防災教育の推進
- ④交流人口拡大による震災の伝承



〔東日本大震災・原子力災害伝承館〕

(2) 伝承館による記憶と教訓の伝承

- ①資料の収集・保存
- ②調査・研究による教訓の抽出
- ③展示・プレゼンテーションによる伝承
- ④研修による学習機会の提供



〔ジャーナリストスクール〕

【県総合計画の政策分野】

東日本大震災・原子力災害からの復興・再生

＜主な指標＞

○東日本大震災・原子力災害伝承館の来館者数
現況(R2) 43,750人 ⇒ 目標(R12) 75,000人

施策4 社会の変化等に対応した学びやすい環境づくりの推進

Point オンラインの有効活用に向けた情報提供や多様な主体との連携による各種講座内容の充実を推進

(1) ICTの活用と学習情報の提供

- ①オンラインを活用した学習の推進
- ②学習情報提供体制の充実
- ③学習ニーズの把握と情報活用



〔NPO法人3・11こども文庫にじ〕

(2) 学習成果の発表と活用場の提供

- ①学習成果を共有するための講座等の工夫
- ②学習成果を活用できる機会や場の提供
- ③学習成果の職業キャリア形成への活用[再掲]

(3) 関係機関等の連携・強化

- ①多様な主体との連携による学習機会の充実
- ②生涯学習推進拠点機能の強化
- ③生涯学習担当職員等への支援

【県総合計画の政策分野】

ふれあいと親しみのある魅力あふれる県づくり

＜主な指標＞

○県民カレッジ受講者数
現況(R2) 83,022人 ⇒ 目標(R12) 200,000人